

(2)(3) (4)

色夢などを印刷する方法に買する。 しているものが散見されるが、放剤に印刷する ことはその印刷方数が重要まため強んどのもの

) 印刷する方法が行われているが、使用する印

(19) 日本国特許庁

## 公開特許公報

①特開昭 50-124715

公開日 昭50.(1975) 10.1 **郊特顧昭 49-2922/** 

昭49 (1974) 3.15 22出類日 (全5頁) 審查請求 未糖求

广内整理番号

7265 46

62日本分類 116 DO

@ Int.Cl2

B4/M 1/00 CO9D 11/10

の数は展定され、また印刷された ているのに選ぎねために、容易に繋げてじ 揺をたさぬものが多い。 **薬出し茶の俗祭表面への印刷はその形像性** く、包装中十幅送油上で、求いは前受者が 取扱中に、領蔵領失してしまうととが多い。 温度指衣袋の動出したは、オンナイスファス、 券にとれらの製肉剤を用いたものへの印刷 インタとの最和性上離しく、ために元択中 エチレンオキサイド・プロピレンオキサイド 行っていた。 しかしながら、鉄剤そのものに何等かの文字 タイトルなどを印刷することができ、し 進会社としては、その無常について品質管理・

· 韓間 昭50-1247 15 (2)

液通管理ができるとととなる外、復々の値でメ リットが生することは勿論、語気者にとつても 製剤が可能となり安心して使用できるなど数々 のメリットが考えられる。

本項明は、上配の授未扱の欠点を解終し、終期 等に容易に創施しまい印刷ができる事の様々の メリフトを扱つて、からる印刷の可能性を追求 したものである。

特に振楽・食品仮用の糖衣包の艶出し様にも十 分上記の目的を連載せんとしたものである。

本毎期の毎期常は、化学長店によって発金する 労金性の高いいくつかの物質に選目し、その中 かも使用しても開生上無様である物質を選択し とれを使用した。即う資料等中に指加した物質 と印刷機に動加した物質との化学氏店による発 各によって、印刷するととを発明した。

即ちてれぞれ指生上編件である。化学反応化よ つて残らする一方の物質を検測等の表別化、長 台反応をかたませる他方の物質を所属の文字 機構 服券 他手をさせまれた大計学中別制化 されぞれ集付し、印刷物の作品によって製金化 学成応せしめ、 兼用等に所譲の印刷をすることが できるととを発明した。

本発掘は、袋剤等に化学反応によって発色させ、 哲学又は製版の形状として表わされる文字 模様 服券 色彩をざを、印刷することを可能とした袋

所等印刷方法に関する。 本男物の実施に使用される集色化学反応する分質 としては、テラテル版又はその単類(テリテル版 ナトリタル・オリテル版スはその単類(ラリテル版 ナトリタル・オリテル版オリタル等)と映道(頃 化第二級・福製第一級・タエン開鉄・ダエン級 プレモニタル等)、アセテルテリテルをアスセテル オリテル版タリテル版と、リース・ス・ス・ オリテル版タリテルを)と映版(上記の頃化第二 鉄まど)、エ 化でんぶんと反似、天医カリ版、フ

飲まど)、4 化でルルルと形式、矢坂カリ東、フ エノールフタレインとアルカリ藻類(水板化ナト リウム、水酸化カリウム等)、重いはランエン酸 又は七の簡単体と供源(上配塩化和二鉄など)等 の複合セがある。

とれらの化学物質の一方を披射等の表面に放付し、 他の一方を印刷機の数字や製版に放付して、印刷 機を作動させて、所質の印刷をする。

との化学物質の組合せて、何れを穀和等の表面に 取付するかは、何れでも要支えをいが、色の無い 方のものを製剤等の表面に取付することが好まし い。

本規則の実施に使用する印刷を例えば米国ハート ネフト社の、又はマーケム社の局面印刷を使用 すれば実施できる。

また本発明による額衣袋への印刷は、熱出し新印 ち色掛け工程直前に行つても、熱出し矢に行つて も、何れても禁室点をいっ

本発明による印刷は、 物質の化学反応による別色で物質学に深く表示し、印刷されたものは単品に 複雑してお失してしまうととはない。

即ち本長等の方法によるものと、名来法のものを 北秋するに、総付的面(関1の1.間1の11年 未設のもの、図2は本長等のものを示す)に示す どとく、本祭司の方法は、素質1 下斜けぬ.2 合裁計画3 ショップ無け届多次要属したものに 印刷する。男色はアーテング操り等に改選し、第 色刺で多変はカーラング機の等によって は例えるとなって外類を開発しよって は例えるとなって外類を開発しました。 は例えるとなって外類を開発しまって は例えるとなって外類を開発しまって は例えるとなって は例えるとなって は例えるとは、対合第5は表面上に の分形成され、数出し度4 K 代別しているの本に 通ぎなく、外形的声描により無色形ちは倒しする。 さえ下記のこと(発色以近する地質の観視によっ て、最色、最色、相色・・・ 等なべな色彩に印刻 することができる。

不発明の印刷方法を、製品の景別カブセルヤとれ ちと同様の同株料の開発化したものに進力ととに よって、製造会社は、高度管理・高光管理が可能 となり、大いにな立つ可能を考ることは勿能、活 力率にとっては開助が可能ときり、当他製品に対 する家心品、信酬率を持つことが考えられ、回品 のイメ・ツアップにも大き(実践することが顕粋 される使れた余別であると何する。 以下製造体について照明する。

## 突蒸鍋 1

1年200年、夏先3万の展発を、下掛け成方1 を用い、常数によりコーナングし 250 可とし、と れた色数付成力1を用い 370 可せでコーチング 地大色の保険を持た。夏にションブを終力1を用 い580 可せでコーナングした後、者談により4十

			•
ンパス付飯出しパンを用い、カルナパロ	902%	特別和別 (色掛け処方 1)	3-124715(3)
トリノレン弦で製出しを行つた。との先	沢ある英貴		6 5 %
色の袋形を、米強ハートネフト社のデル	<b>乡屋印刷株</b>	女用変色レーキ4号 0	. 0 5 15
て発色インタ処方1を用いオフセプト印	顧した。印	*	5 b 22
字は褐色の框めて鮮明に印刷された。		(ショップ処方 1)	-
本実施例で印刷された設別と、従来の印刷インタで 印刷した個衣娘との各人1時を、キャンパス付パン (直盤 40 cm の) に入れ、毎分100回転の進さて		學 糖 6 5 形	
		チンニン液	3 %
		*	5 6 部
10分間回転支化、印刷の制能活失状況		(発色イン久夷方 1)	• "
表につき調べた。超額又は印字の選先した景数は、		メナルセルローズ 2 苗	
本実施何のものは6であつたのに対し対	象品のもの	エタノール	8 0 Pb
は48袋であつた。		. 9===>=	2 0 部
(下掛け処方 1)	_	*	10#
<b>*</b> *	40#	<b>华化第二</b> 数	1 #
プラピアゴム	* #	夹当例 2	
ゼラチン	15部	アスコルヒン飯	100=
***	205	<b>»</b> #	200 10
世際製蔵カルジタム	25%	ダー でんぶん	100 🕶
*	2010	レモン番料	* *
		食用 黄色 4 号	滋 兼
上記処方で成一でんぷんの19 %を水・メタノー ル=181ド等無し禁合欲とし、激雑収益を、ス		(発色インタ基方 3 ) ヒドロキシブロビルセルロー	*
テフリン最カンシウム1%を参加し		<b>単タレード (B</b> 1	F品) ' 2 部
可のチェリブル祭をつくつた。 この食剤に発色		281-N	8 o 🐞
インタ処方まを用いゴム印で兼印し	大ととろ、非	メテレンタロライド	20部
色の印字が印刷された。		*	10#
…(発色インナ発方 2)		<b>花象郑二族</b>	1 %
	0.1部	本実施例は発色インタ処方3中の	3 後二郎集成
长此力于	1 🗱	ショフブ被処方る中のメンニン説	
CMC++ 9 9 A	. W	応しメンニン酸飲とたり褐色に発	色したもので
. *	10%	36.	
英雄何 5		ム放車の効果を取明	
表演例 1 に従いショラブ放品方	と光色イン	第1回は発来法による一つの実	英側兼を祭の .
タ処方5の混合せて基色の印字が9	りわた。	新被数要数で、着色部の位置を示	
(ジョフプ家処方 5)	-	1位印刷数、第1数の2位印刷数	
<b>* =</b>	6 8 15	1・・・ 業 祭	
チンエン説	2 #	2 * * * 下掛け屋	
ナルテル散ナトリタム	2 部	3 *** 色掛け層	
*	4 0 36	4 • • • 匙出し后	
ng01		5・・・ インタ(着色部)	
		00	
1			

解る動は、本発明方法により印刷した一条施 例類衣架の新面板英図で、着色部の位置を示

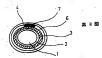
1・・・ 素質

€・・・ シェクブ掛け

7\*\*\* \*\*\* ( \*\*\* )

報問記録 124715(4) 第 1 20 0 1

第 1 図 ♥ <sup>3</sup>



4 首配以外の発売者

発明者

住所 東京都新書区戸都町 2-105 原田ビル フロイント告告 新士 4 計内

氏名 善 本 直

住所 東京都新設区戸根町 3-10 5 展面ビルフロイント 施奈株式会社内

氏名 裏 ff エ ナ

手統補正書

特許庁長官 壳面英雄

L. 事件の表示

基面の4章 - 英華田田田

・ 接正をする者 事件との関係 等計当原人

年 所 東京都須在医戸港町ま丁日108番角

。 15 名 アラインド産業株式会社 。 、 、 、 、 代表取締役 (代)島 昌 央。

5. 推正命令の日付 由 / 職

相正の内容 報記がの表示的の1 相正の内容 報記がの表示的01

\*\*\*\*

原答の1発明者の概の在所のうち「2-105 原因ビル jの3字を施設し「3丁頁105 費集」 の3字を加入する。

版書 3. 特許出版人の構の包灰のうち「2 - 10 6 版版ビル」の9 学を開除し「2 丁目 10 5 香地」の 8. 学を加入する。

服者 6. 前記以外の現明者の報の 3 行目の住所のうち「2 - 10 8. 展記ビル」の9 年七郎 助し「2 丁目 10 8 平元 加入し、3 行目の氏名の「角本 直」の本に 由」の一手を挿入する。4 行目の住所の [3 - 10 8 页面ビル ] 0 9 平文 開助し「3 丁目 10 8 予本 開助し「東」の1 平を 加入し、5 行目の走名の「版」の1 字を 開助し「東」の1 字を 加入する。

要性状の要性者の氏名中「編」の1字を解除し 「編」の1字を加入する。

以上の通り、製配をもとづくので亜鉛体量本及

特例 昭50--1247 15 (5

-----

特許庁長官 天皇 典華

E 所 本の参加 事業 「本明」

本山 章(任か3名) 3. 特許出版人 在 市京京都新報製戶報報 3 丁 B 10 6 卷地

E 5 代表取締役 (大 高 直 大

作 理 人 T186 在 所**武政府市宣祥专北町**5-9-31

(1) 明細書 1 通

(3) 順書副本 1 通 (4) 委任 状 1 遅

a. 台記以外の発明者

磁模 #

在所 東京都新賀区戸祭町 2 丁星 1 0 5 香地

54 # 77 AF

兵4 4 2